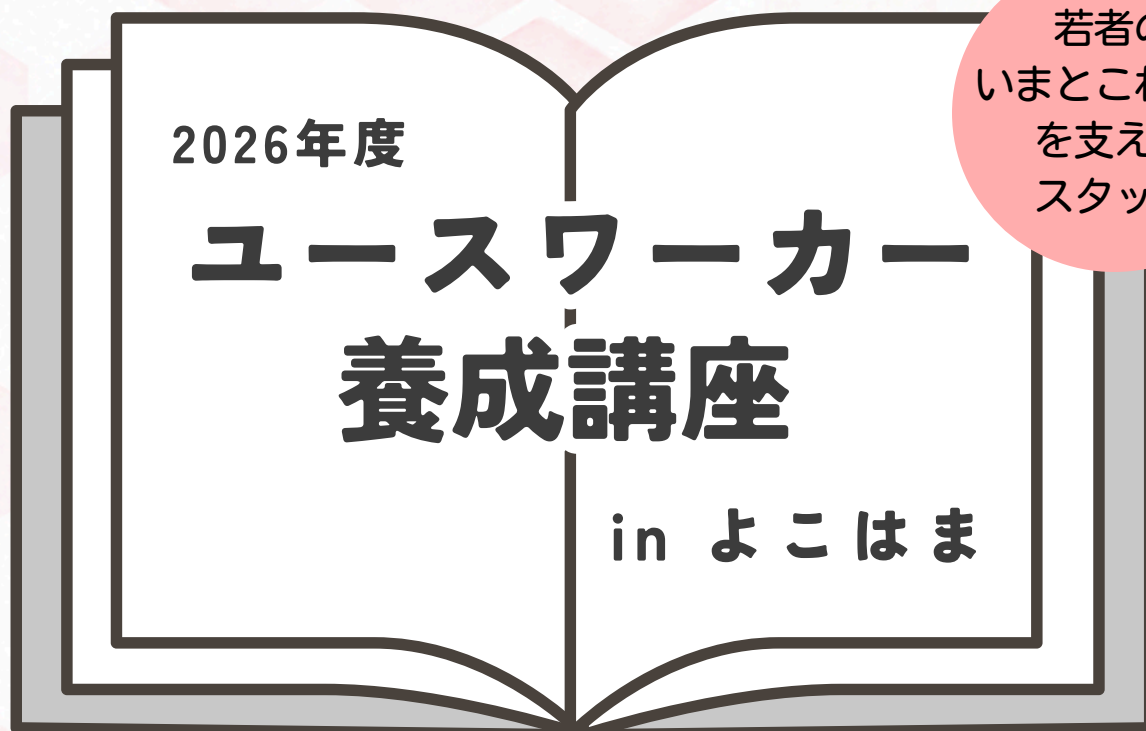




若者の
いまとこれから
を支える
スタッフ

若者のいまとこれからのを支えるスタッフ＝「ユースワーカー」を育てるプログラム。ユースワークの概論、若者に関わるうえでの自己理解など、ユースワーカーとしての基礎を2日間で学びます。

12/5 (土) 10:00～18:00

- Session. 1 若者を支える仕事
～ユースワークとユースワーカー～
- Session. 2 ユースワーカーの価値を探る
- Session. 3 ユースワークとしての自己理解

12/6 (日) 10:00～18:00

- Session. 4 ユースワーカーに求められるスキル①
～コミュニケーション～
- Session. 5 ユースワーカーに求められるスキル②
～グループプロセス～
- Session. 6 事例検討と実践の考察

講師 ユースワーカー協議会に所属する
トレーナーが複数人で講師をつとめます

定員 20人程度
(先着受付順／最低施行人数10人)

参加費 8,000円 (35歳以下 3,500円)
過去の受講者の再履修 (横浜市以外での
受講も対象)
5,000円 (35歳以下 2,500円)

会場 横浜市青少年育成センター 研修室
(横浜市中区住吉町4-42-1
関内ホール地下2階)

対象

子ども・若者にかかわる方や
青少年育成・ユースワークに
関心のある方

【主催・お問い合わせ】

横浜市青少年育成センター

(指定管理団体：公益財団法人よこはまユース)

045-664-6251 ikusei-event@yokohama-youth.jp

<https://yokohama-youth.jp/ikusei/>

【協力】ユースワーカー協議会

【申し込み】

10/16から先着
右のQRコードまたは、育成センター
HPから



ユースワークとは



ユースワークという言葉は直訳すれば「青少年への支援活動」とでもいう意味になりますが、ここでは、主にヨーロッパ圏で長く実践されている、青少年・若者に対する福祉・教育・労働などを包括したアプローチやその考え方のことを指して使いたいと思います。その、ユースワークにおいてとても重要な役割を担うのが「ユースワーカー」です。とはいえユースワーカーって耳慣れない言葉です。例えば、親・親戚、学校の教師、近所のおじさん・おばさんといった人たちと、「青少年（育成）活動」という分野で子どもや若者と関わる大人がいます。指導者、コーチ、育成者、リーダー、カウンセラーといった多様な「肩書き」があるのですが、ユースワーカーというのは、そうした人とは少し異なった、若者を教え導くというより、若者とともに「場」を作り、(大人)社会と若者の間に居て、若者が社会のメンバーとしての位置づけを得ていくことを手助ける人、という意味を持っています。

(「YOUTH WORKER HAND BOOK 2 -ユースワーカー基礎編-」より)

ユースワーカー協議会とは



ユースワーカー協議会は、各地の若者と関わる人たちが実践を持ち寄り、実践の根拠を確かめ専門性を高めていくことで、活動の社会的な基盤を強化しつつ現場実践者をエンパワーしていくことを目的として2019年に立ち上げられました。当時、立ち上げをになったのは、下記の5つの団体とそのスタッフ（ユースワーカー）たちです。

- 公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会
- 公益財団法人よこはまユース
- 名古屋ユースクエア共同事業体
- 公益財団法人京都市ユースサービス協会
- 特定非営利活動法人こうべユースネット

各地でユースワーカー養成講習ほか、実践交流サロン（オンライン）やユースワーカーフォーラム、ユースワーカーの研修の場づくりを実施しています。

ユースワーカー協議会HP

<https://youthworkerCouncil.jimdafree.com/>

